

# やまのうち通信



## 第 174 号

令和 3 年 10 月 20 日

山内自治振興センター  
庄原市山内町 813-4  
Tel・FAX (0824) 74-0451  
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com

人は死ぬまで同じことを  
するものではない。理想に  
従って生きるのが素晴ら  
しいのだ — 渋沢栄一 —

## 定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

「山内へようこそ!!」山内の平和町に引っ越して来られた中村さんファミリーを紹介します!



四季が感じられる のどかな環境の中で、のびのびと子どもたちを育てたいと考えていました。先に移住された方々から「山内小学校は少人数で一人ひとりに目が行き届いているし、地域の人との関わりのある教育もしていて とてもいいよ」と教えてもらっていて、長男が小学校に入るまでに山内地域に引っ越そうと考えていました。

これまでに 6 件もの空き家を紹介してもらい、「小学校までが近いこと、車の通りに面していないこと、自然が多いこと」などの私たちの求める条件にぴったり合ったお家に出会い、無事一軒家を借りること

ことができました。近所の方々も「地域に子どもが増えるのは嬉しいよ。困ったらなんでも聞きに来んさい」とおっしゃってくださいます。次男が 4 歳、長女が 1 歳とこれから、地域の中でお世話になることが多くなる世帯です。どうぞ皆さま よろしくお願ひいたします。

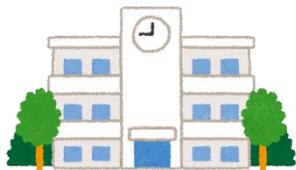
9 月は緊急事態宣言下ではありましたが、様々な定住の動きがありました。新たに 2 家族のご契約と、上にもご紹介しました塾講師をされています中村ご一家の移住です。また 7 月号で紹介させていただきました大工さんの矢野さん宅にもリホームが終了し灯りがとまり始めました。

更に 10 月に入り新たな賃貸物件 1 軒と譲渡物件 1 軒のお話をいただきました。ありがとうございました。緊急事態宣言も解除されましたので、バリバリ老体にむち打ち頑張ります。また、ねきの野山がおもしろいの自然体験活動も移住希望者の皆さんと共に山内の自然を満喫したいと思います。



引き続き地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。 地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実

## 山内小学校統合問題対応協議会へ参加しました



山内小学校は、令和 5 年度に東小学校と統合という計画となっていました。山内自治振興区でも学校統合問題はまちづくりに大きく影響を与える問題なので、統合問題の協議に加わらせてもらうこととなりました。

8 月 18 日 PTA、保育所保護者会、自治振興区の 3 団体が各 8 名ずつ計 24 名の委員を出し合い「山内小学校統廃合問題対応協議会」を結成し、教育委員会との話し合いの場に出席することにしました。

9 月 30 日には、教育委員会を訪問し、代表 6 名が山内小学校統合問題対応協議会を結成されたこと、また今後の協議はこの会が対応することを報告し了解を得ました。

先日、NHK で興味深い内容の番組が放送されていました。

“孤立という病”…新型コロナウイルス感染症が蔓延し、外出自粛や行事等の中止などにより活動頻度が減ったため、人と関わりが少なくなり「孤立」という問題が生じたというものです。この「孤立」により、心身機能の低下やうつ病のリスクが高くなっていることがわかっています。こういった病気の原因、それは「孤立」です。



“医療だけでは健康になれない” “薬の処方では治るものではない”。この現実への対策として注目されているのが「社会的処方」。“社会とのつながり”を処方して孤立が引き起こす病を防ごうという内容でした。

人と会わない、楽しみがなくなる、役割がなくなる、家からでなくなる等…皆さんの生活はどのように変化しましたか？

最新の調査では、活動頻度が減った高齢者のうち、要支援・要介護状態になるリスクは2倍、身体機能低下のリスクとうつ病のリスクはともに1.5倍。いずれも健康に悪影響を及ぼすことが判明したそうです。最後は死亡率まで高めてしまうとのこと。身体的影響と精神的影響はつながっています。医者にかかっても特に大きな異常はみられなくても、心身の不調の背景に「生活の変化」があると言われるのです。

必要な「処方」…それは（地域）社会とのつながりを作ること、修正することが求められています。



ある地域では、住民どうしで、絵手紙を送る取り組みをされておられます。誰かが自分のことを気にしてくれているんだ、一人じゃないんだという温かい気持ち生まれ、次回を楽しみに待つ気持ちが生まれます。このことが送り手の励みになり、生きがいとなっていると話を聞きました。地域のつながりで、生きがいの相乗効果が生まれているようです。

「生きがい」は生きる目標です。「楽しみ」や「目標」は日々を彩ってくれます。

地域での声かけや見守り活動などで、この逃れることのできない状況を「みんなで」「自分の力で」「自らの生きがいとして」暮らしていくことができればと思います。

相扶の郷居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 長瀬 並

### 投稿写真を募集しています！



やまのうち通信では、地域のみなさんからの投稿写真を募集しています。

投稿希望の方は、写真データを山内自治振興区事務局までお持ちいただくか、自治振興区メールアドレス (yamanouchi.jichi@gmail.com) へお送りください。



### 環境パトロール隊



10月実施(右から) 花房豊さん、松田一馬さん、長泉進さん

### 10月市内一斉クリーンキャンペーンが行われました！



↑表水越自治会  
←平田自治会

きれいにしてくださり、ありがとうございました！



# おたがいさまネット

新型コロナウイルス感染第5波が下火になり、8月27日から9月30日まで35日間続いた県下の「緊急事態宣言」が解除されました。宣言下での私たちの日常生活は多方面にわたって影響を受け、昨年に続いて敬老会を始め様々な行事や活動が取り止めになりました。人と人が交流する機会が失われるこの様な状況で危惧されることの中に、高齢者の孤立があります。とりわけ一人暮らし高齢者の方にとっては外出の機会が減り、遠方に住む家族ともなかなか会えない等、コロナ禍は孤立を深める要因になっています。全国ニュースではこれに伴う残念な事例が各地で報じられており、改めて「見守り活動」の重要性が問われています。



「緊急事態宣言」は解除されましたが、感染が完全に収まった訳ではありません。冬にかけて第6波が予想される中、感染予防に努めながらの日常が続くものと思われます。一人暮らし高齢者等巡回相談員・民生委員などの地域関係者や近隣住民による「見守り」を更に継続していきましょう。一方で「見守り対象者」の方には自らの安否を身近な人に日々発信する術を持てば、お互いの安心につながるのではないのでしょうか。

「山内おたがいさまネット」ではその一方法として「元気コール」電話機を提案し、希望された方に無償で設置・利用して頂きました。10年を経て今やスマートフォンをはじめ通信手段は多岐にわたり、安否確認の方法も多種多様です。どの方法をとるにしても日々、確実に安否確認が出来ることが大切です。これから寒くなり姿が見えにくくなる時期でもあり、安全・安心に過ごすために、その対策がとれていない方は是非一考ください。



## 【元気コール電話について】



身近な人に毎日元気であることを知らせる電話機。決まった時間に受話器を取って登録したワンタッチダイヤルを押すと相手の携帯電話につながる。一回呼んで受話器を置く。相手の携帯に履歴が残り元気であることが確認される。話すときはそのまま呼び続ける。

この電話は貸し出し無料で在庫があります。

詳細は自治振興センター（0824-74-0451）へお問い合わせください。

地域マネージャー 三上智道

## 投稿写真 アダプト活動報告

10月3日、国兼川の草刈を日向自治会（大才班・岡本班）で行いました。



予定

- 9日 ふれあい給食
- 18日 健康寿命向上セミナー  
「栄養改善教室」10時～
- 20日 自治会長会
- 23日 狼煙リレー（甲山城）
- 30日 ふれあい給食

## おくりもの

9/13～10/12

### ◆香典返し

木戸町 藤原尊直様（故 豊久様）

ご芳志ありがとうございました。

ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。

山内地区社会福祉協議会



# 敬老事業対象者を記念品で祝福しました！！

今年も新型コロナウイルス感染防止の観点から、敬老会は中止となり、敬老対象者の方、喜寿、米寿、金婚者の方には記念品を贈ってお祝いをしました。また、85歳以上の方を対象に、山内小学校児童の皆さんがお祝いのカードを手描きしてくださりました。記念品の配布には自治会長さんや民生委員の方々に協力いただき、対象者のお宅に届けました。



山内小学校6年生が描いたカードです。元気の出る心のこもったメッセージです。



今年の敬老対象者は452名（男159名・女293名）で、喜寿16名、米寿21名でした。また、その他の対象者は金婚11組でした。みなさんおめでとうございます。なお、100歳以上の方は4名おられます。

## まんが 庄原地方のできごと

2021.10.1



天明の一大一揆  
源と市ひきいる  
農民の闘い

500円  
山内自治振興センターにて販売しています

◎昨年、山内郷土史研究会発行の冊子「日吉神社と頼春輝」その中の「天明の百姓一揆」を元に創作しました。農民の行動や声を想像して一枚一枚「まんが」を描きました。皆様のご意見お聞かせください。今後の制作に役立ちます。 創作：谷本豊子

# 天明の一大一揆の本が出版されました！！

今年9月、山内町の谷本豊さんが江戸時代の恵蘇郡（山内を含む）で起こった天明の一大一揆について本を自費出版されました。

天明6年恵蘇郡では大規模な冷害で米がとれず、農民が広島藩に年貢の免除のための一揆を起こしました。

藩に願いは受け入れられたものの、主導した源右衛門と市三郎の2名が、山内の山王原（現在の長迫池）で処刑されました。

そこには現在、その功績を記した墓が建てられています。そうした経緯を漫画で描き、小学生でもわかりやすい冊子を今回出版されました。

一冊500円で山内自治振興センターにて販売しています。

是非、山内の歴史を改めて学んでみてください。

# 11月23日(火・祝日)狼煙リレーを開催します！！

山内（甲山城跡）の狼煙点火は午前11:50分頃です！

今年も市内をのろしでつなぐ「狼煙リレー」を行います。甲山城跡から狼煙を上げる人数は最低限に制限して行います。甲山城周辺からの写真撮影は自由ですので、写真に興味のある方は写真撮影をしていただければと思います。撮影した写真は、やまのうち通信への投稿を募集しています！



昨年の狼煙の投稿写真です